

聖ウルスラ学院英智小・中学校における  
小中連携の取組内容、成果、課題について

第11回学校段階間の連携・接続に関する作業部会  
平成24年1月30日(月)

## 聖ウルスラ学院英智小・中学校の小中連携の教育に関する事例

発表者 校長 伊藤 宣子

### 1、小中連携を導入した経緯、ねらい

教育活動を目的として設立されたカトリック聖ウルスラ修道会を設立母胎とした本校の歴史は470余年を経た伝統的な教育を今に受け継ぎ教育活動を行ってきた。

世界で初めての女子教育学校を創立した聖アンジェラ・メリチは、時代のニーズを読む改善・改革を勧める教育姿勢を持っていたと記されている。このことが、絶えることなく、かつ世界71か国165校に広がり得た世界の聖ウルスラ学院の今日の学校の姿であろう。不易なる教育と時代のニーズを読む流行の教育を共に錬磨し合いながら時代に生きた教育として伝統教育が輝き出しているのだということを実感することができる。

時代の変化が激しい21世紀の今日、漫然と伝統教育に縋り付く教育姿勢では、学校教育を衰退させざるを得なくなるという事実でもあろう。本校ではこの点に気付くと同時に教育改革の背中押しをしてくださった方が理事長 梶田叡一氏である。幼稚園から高等学校までの15年間の教育の宝を生かし切れしていない教育活動に、新たな教育改革の風を起こすことの必要性に迫られていたのである。折しも、当時の構造改革特別区域法の制定、カリキュラム・マネジメントの実践等は、時代のニーズを読む教育改革の願いに対する火付け役を果たしてくれたといえる。

今、私たちは、子どもの成長に目を向け、その背景にあるものを検証しつつ教育マネジメントする教育パッションを、教育科学を駆使して具体的教育設計に落とし込む教育アクションが、教育の連続性に活かされていくことの教育効果を実感させていただいている。

### 2、学校運営における小中連携の範囲

小学校からの教科担任制の導入

セカンドステージから始まる教科担任制の導入（但しファーストステージにおいても英語科、図工科、コンピューター科、宗教科など一部導入）

児童生徒交流（4年生10歳の壁、中一ギャップ、高校入学生徒の学力問題等を如何に連続性の教育で成長エネルギーに変容させられる教育を生み出すかがキーワード。）

学年としての体系的・体験的学習を組み込みつつステージとしての成長を確認する教育の実現のなかに児童生徒の交流の在り方を検証

\* 小学校課程・中学校課程入学式

\* 週1回のファーストステージ朝礼、セカンドステージ朝礼、

リーダー学年（4年7年生のリーダー冬山生活体験研修）の交流

\* ステージごと行事による自治意識の育成、下位ステージを支援する上位ステージの意識育成、（セカンドステージ英語リステーション・スピーチコンテスト）

\* ステージ教育の意識付け 4・7年生は進級認定式も含む

七五三の祝い 1年生、二分の一成人式 4年生、立志式 7年生

\* 学内三大行事の実施（ステージ成長の確認）

運動会、英智文化祭、クリスマス会

\* 小学校課程・中学校課程卒業式（24年度から義務教育卒業式として式典を実施する予定。それに伴い小学校課程の卒業証書は終了式にて授与する。）

教員兼務発令

校長、教科担当教諭（言語技術科、英語科、社会科）

小中一貫した教育課程の編成（資料1参照）

9年間の教育課程の基準の特例を実施

### 3、小中連携の推進体制とその評価

連携小・中学校における校長の人数

一人体制（効果的となる時期がある）

副校長について

校舎が小学校と中学校が別地域にあるためキャンパスごとに副校長を配置する。

（平成24年度より校舎一体型となるため、小中学校副校長として一人制度）

但し、特別の教育課程に基づく教育の実施については、実施体制として、（別紙資料2）による小中教育研究推進委員会及び、英智公開研究会実施委員会を設置して研究を重ねている。

### 4、学年区分

4・3・2制を採用する（資料3）

時代の急激な変化と子供の成長過程を見据えた効果的教育の科学的実証的研究開発

### 5、教育課程上の特例活用 有り

特例の内容（資料4）

### 6、施設一体型校舎は平成24年に完成。

8年前に小中連携（4・3・2制）の教育設計に取りかかった時に、校舎一体型を目指して企画している。セカンドステージ教育はこの教育改革のキーワードであることから必要不可欠とした。但し一期ではなく一体型校舎になるまでのこの7年間は重要な準備期間であったと評価する。即ち小・中学校文化の独自制を保ちつつ新しい9年間の義務教育学校文化を生み出すための必要性と、新教育文化を創り出せる自信が、教師側にも気づきが出る期間でもあった。24年度の新生活のためのこの3ヶ月間を慎重な準備期間として教師の希望と志を持って子どもたちに語りかけていきたい。

### 7、異校種教育による学習指導、生徒指導、部活動指導の有無、

小中学校授業研究会を設置し、毎年公開研究会を実施し続けたことが、教師たちの教育の連続性の在り方を認識できる絶好のチャンスとなった。

24年度より、セカンドステージ思春期の一つの教育の在り方として（5・6・7、年生）は全員必修クラブ活動を週1回実施（小中学校教師が参加、これによる思春期

の生徒指導の在り方の検証ができると予測する)。よって部活動はサードステージ 8 年生からの実施となる。

#### 8、小中連携の取り組みの特色、成果及び課題

私立学校として公教育の一端を担う教育開発は、財務経営と教育経営の学校経営をリードする理事会が教育ベクトルを示しリードし得るか否かに帰結すると考える。

勿論、これを支援する県教育行政の在り方にもよるところは大である。この 2 つの内容が、本校には恵まれていたことが大きい。そして、何よりも子どもたちの可能性の開花に翔る教育創造の情熱を現場の教師たちが持ち、子どもたちの教育に喜びを感じているということが大であったといえる。教育現場は年齢別・性別・経験別、文化別、等様々な人々によって構成されているのだが、我らの学校づくりに情熱を翔られる発想の転換を仕掛けることが大切であると気付かされている。

成果としては、子どもたちの成長が顕著である。一方何が必要なのかも学校評価から見えてきているし、改善中でもある。(資料 5)

課題は、 1 教員養成

2 兼務発令による給与整備が急がれる

3 義務教育 9 年間の新教育文化の構築

教育理念をベースとし一体型の校舎による新教育文化創設のための校長の諮問機関として新教育プロジェクト委員会を設置し稼働し始めている。名付けて義務教育職員室文化の構築。この文化を創り出し変容成長する教職員の姿が楽しみである。

4、高等学校教育 18 歳の尚志を実現するための義務教育の教育成果に繋ぐ 9 年間の義務教育の成果を掴みたい。

5、教員採用に関する問題

6、保護者の経済力の継続性(補助金問題等も含む)

7、これまでの 7 年、これからの 7 年という分水嶺に立つ者の意識

#### 9、教育課程における制度的障壁の有無

教育課程の特例校としての動きには特に問題を感じていない。

#### 10、教員免許による制度的障壁

教育養成大学において、小・中・高校の教員免許が取得できる事が望まれる。

又、教員免許更新制度にも関わる問題である。

#### 11、小中連携の推進が地域と共にある学校づくりに資するどうか。

本来一貫性のあるべき小学校教育と中学校教育が断絶されている側面をもつことによる諸問題の解決や、確かな学力向上を図る施策が求められている。本校としてこれに応えるために、独自の工夫を施した教育課程を編成して、本校の様々な特色を活かしつつ諸問題の解決を図った総合的な一貫教育計画を策定した。この教育課程は人間的な成長と確かな学力の向上を目指す小中一貫教育を実践する上で必要と考えられた

ものであり、教育制度上途切れることのない仕組みが子供の成長の円滑な持続をもたらし、個性の安定した発展を期することができるとの見地から立案されている。児童生徒の成長段階の変化に対応した教育の提供によって、確かな学力の向上と人間成長の教育の充実を図るものである。また、小学校と中学校の教育内容が高密度に連携されることにより、それぞれの教員の研鑽の場が増え、教育力の向上にもつながるとの観点も有するものである。この新しい教育課程は当時の文部科学省からのご指導をいただいた上で認められ、「みやぎ私立学校教育特区」の実施主体として本学院が平成17年度より実践をはじめており、引き続き地域社会のご期待を頂いていると考えている。

平成18年度宮城県中学校校長研修会にて、発表講演

平成23年度宮城県高等学校校長会にて、研究発表

また、少子化と公立志向の強い本県にあって、本校の在学児童生徒の増加現象は地域社会の賛同の現われとみている。

## 12、9年間の義務教育学校の制度化に関する考え方

教育の連続性というものは、生命体としてこの世に生まれてくるその時から、もっと言えばDNAの連続性の関係からも言えることではあるが、学名がホモサピエンス（知性あるもの）という事が何よりの証として、こどもの教育に関わる全ての人がこの連続性に気付くことから、その教育環境を整備していく事で教育効果は高まっていくものとする。

よって幼小連携教育・小中連携教育・中高連携教育という概念がもっと強く求められその結果によっては、我が国の教育制度そのものの改善をも視野に入れた教育制度の大改革が求められるのではなかろうか。部分を切り取るような制度改革（中等教育）ではなく、学校教育の教育成果を見据えた制度改革であってほしい。そのためには、公立私立別なく、又教育課程特例校に対しても研究開発校としての予算付けを行う教育開発施策事業が必要であろう。

18歳の志を実現する教育は、22歳以降の人生社会参加の志実現となる「確かな学力と人間成長の実現」のためには必要不可欠であり、学校教育の連続性を幼児教育からもう一度問い直すことで、尚志を掲げる子どもたちの未来の教育を確かに在らしめることができることを実感している。

「ホモサピエンスの教育は常に生涯連続性である。」そして21世紀・22世紀に繋げる教育が今すでに求められていることを見逃すことなく、日本が大切にしてきた不易の教育を時代のニーズに応えられる教育の形にするために教育専門職の研鑽を積んでいきたいと願っている。

## 13、本校の教育連続性を実現する制度とその構築の年譜（現在の制度と今後の課題）

（資料6）

「国際社会に通用する言語感覚」を育てる英智の言語技術

共通の話型：結論を先に / 理由をつける / ナンバリングの使用 / 主語を言う

「僕は(私は) だと考えます。理由は二つあります。一つ目は～ 二つ目は～ です。」

T S   J	9 年 8 年	応 用 す る	プレゼンテーションの技術 討論・ディベートの技術 パネル討議の技術 スピーチの技術 批判的に聞く技術 創造的に聞く	小論文を書く技術 意見文を書く技術 視点を変えて書く技術	論展開をとらえて読む技術 分析的に読む技術 比較しながら読む技術 さまざまなテキストを読む技 術	発想を広げる様々な技術
	S S   J	7 年 6 年 5 年	身 に つ け る 2	描写と説明の技術 賛成ですか反対ですか 決められた立場で答える	描写と説明の技術 事実と意見 要約しながら聞く技術	説明文の要約の技術
F S   J		4 年 3 年 2 年 1 年	身 に 付 け る 1	ナンバリングの技術 問答の技術 問答の態度	書く技術 聞く技術 再話の技術	物語のあらすじを書く技術 読書へのアニメーション
				話すこと・聞くこと・(書くこと)	(聞くこと)・(読むこと)書くこと	読むこと・(書くこと)

問答の技術： 1年 <主語を入れる / 結論を先に / 根拠の提示>

3年 <ナンバリングの使い方>

6年 <決められた立場で答える>

7年 <賛成ですか、反対ですか>

9年 <ディベートの技術>

再話の技術： 1年～4年 <書くことへの誘い> <聞く技術の向上> <書く技術の向上>

描写と説明の技術： 7年 <描写と説明のためのルール>

9年 <小論文の技術>

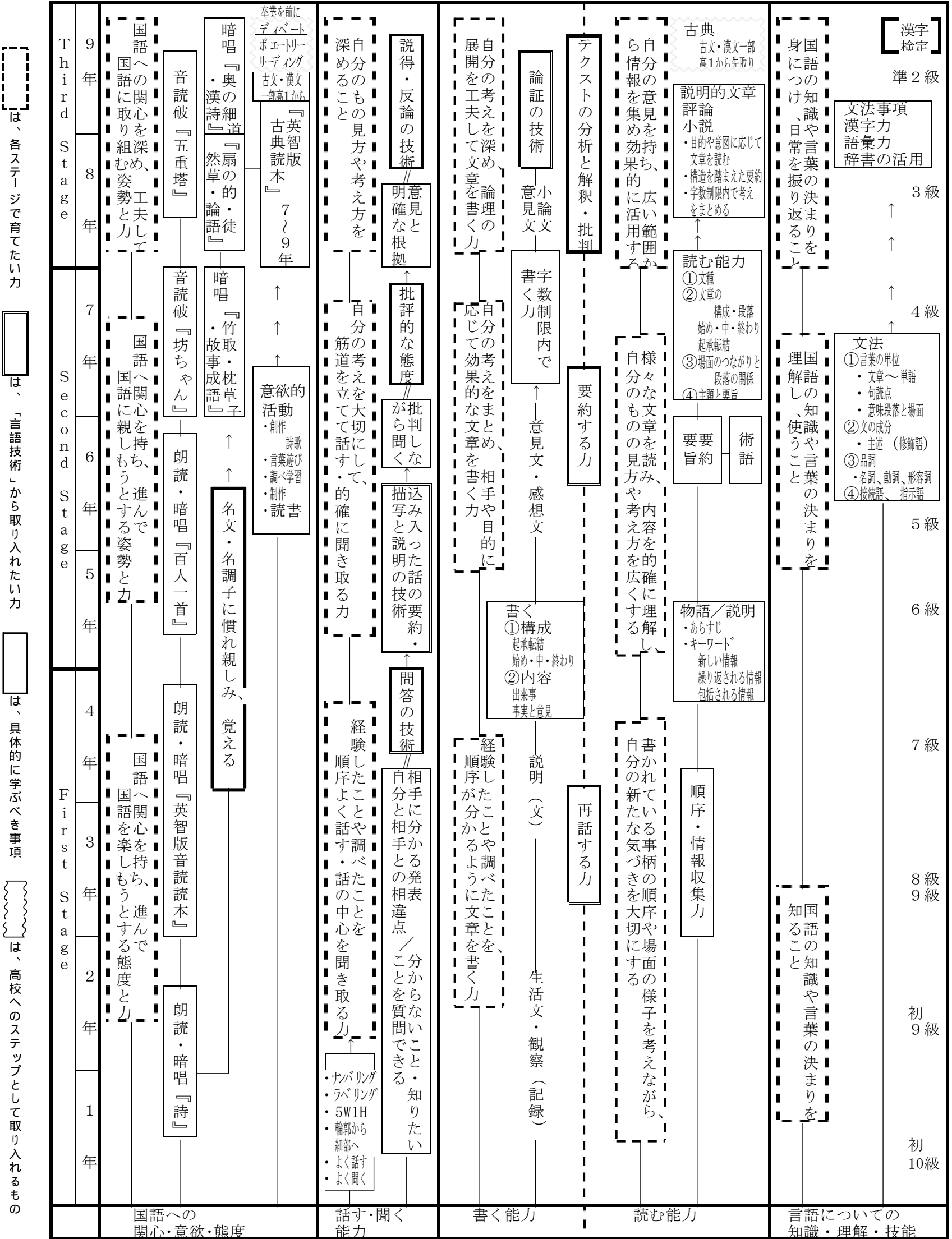
ラベリングの技術： 4年 <あらすじを書く技術>

7年 <要約の技術>

マップの技術： 3年 <マップのルール> <発想の技術> <整理の技術>

4年～9年 <柔軟な発想を身につけるための応用術>

「論理性」と「情感」を育む英智の国語  
 国語科目標：「言語技術に基づき『読解力』（リーディングリテラシー）を身につけさせる授業の研究」



は、各ステージで育てたい力

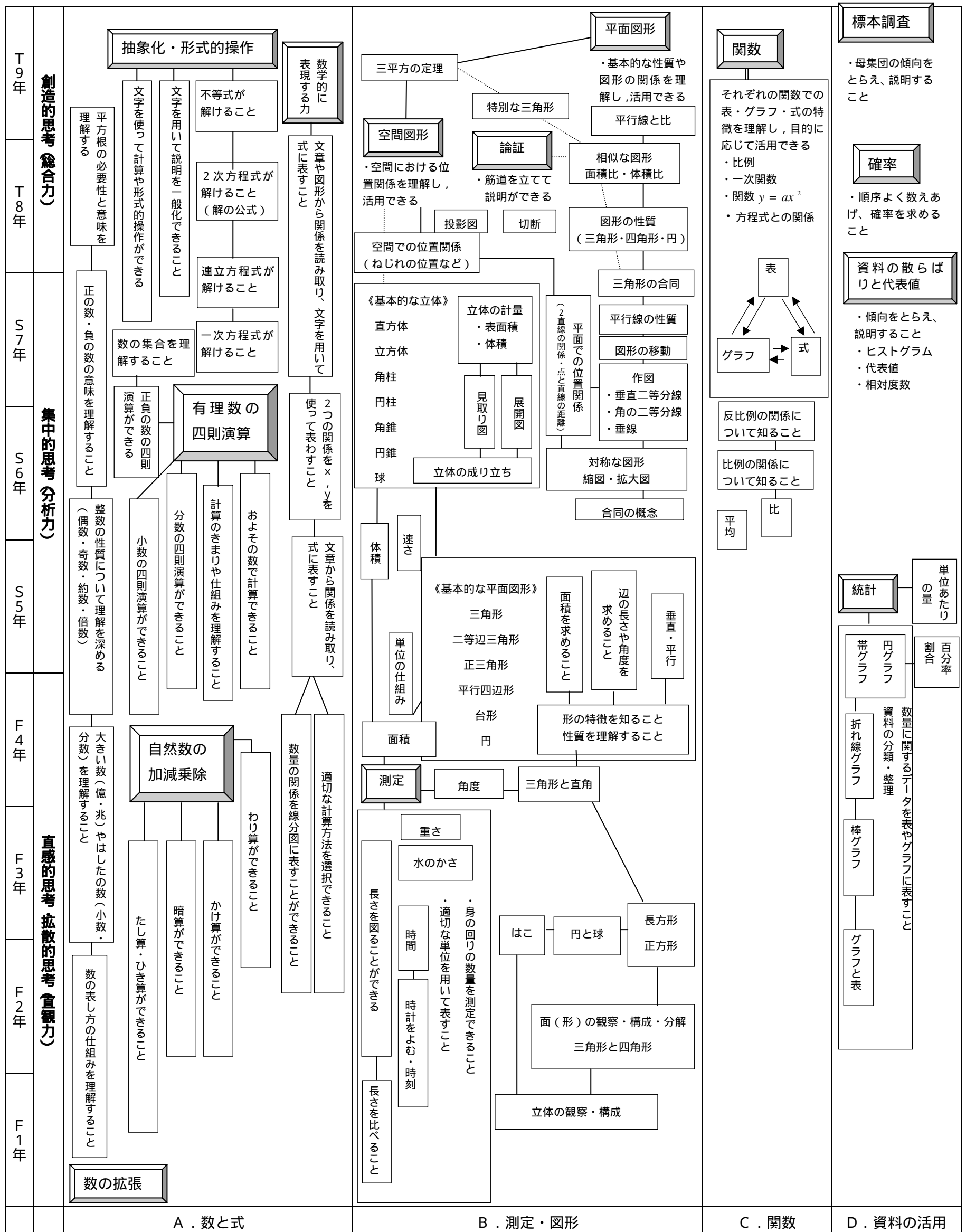
は、「言語技術」から取り入れたい力

は、具体的に学ぶべき事項

は、高校へのステップとして取り入れるもの

※書写・書道 F1～S6年 硬筆書写・毛筆書道 S7～T8・9年 芸術書道

# 9年間のカリキュラム《算数・数学科》





小中一貫教育 分野 言語と国際性 【英語科】 カリキュラム概要  
 教科指導目標： 背景的にコミュニケーションを図る態度の育成と英語スキル(4技能)の基礎を築く

学年	育てたい力・スキル	「聞く」「話す」(言語活動)	「読む」「書く」(文法)	教材
サイドステージ	9年 (210)	日本について説明する 意見を求める。感想を述べる。 ニュースやスピーチを聞く。 報告する。情報を伝える。 好み、考え、気持ちなどをその理由とともに述べる。	いろいろな表現 仮定法過去、仮定法過去完了 比較(倍数) 副詞節、分詞構文、過去完了 形容詞節(継続用法)、形容詞句 名詞節(同格、関係代what) 中学校の総復習 五文型	会話教本 英字新聞 リスニング教材 英文エッセイ集 DVD、ビデオ コンピューター TREASURE 3他
	8年 (210)	日本文化や日本独自のものを説明する。 電話で用件を伝える、対応する。 道案内をする。 病気やけがなどを伝える。 誘う、提案する。 インタビューをする。	物語やトピックを読む。 E-Mailを書く。 関係代名詞節(主格/目的格) 形容詞句(分詞) 文型(SVOC) 復習 - 受動態・現在完了	NEW CROWN English Course3 TREASURE 2 絵本 リスニング教材 DVD、ビデオ コンピューター 他。
セカンドステージ	7年 (175)	継続していることや経験について対話する。 依頼する。申し出る。 将来の夢や希望の職業について語る。 自分の気持ちや感情を述べる。 買い物をする。 身体の部分について述べる。	現在完了形 物語を読む 受動態 比較(最上級、比較級、原級) 不定詞、動名詞 接続詞を使って複文を書く。 未来形 復習 - 過去形	NEW CROWN English Course2 TREASURE 1 リスニング教材 絵本 DVD、ビデオ コンピューター 他。
	6年 (105)	物語を読む。日記を書く。 過去形(2) How was the trip? ---It was great. I had a good time. 過去形(2) Where did she go last week? ---She went to Kyoto. 過去形(1) When did you do yesterday? ---I cleaned my room. 現在進行形 What are you (is he) doing? ---I'm (He's) making a chair. 復習 疑問詞 + do you (does she) ~ ? What does she have in her bag? 復習 一般動詞 Do you (Does he) like soccer? Whose bag is this?		NEW CROWN English Course1  Let's Chant, Let's Sing 2,3,4 リスニング教材
	5年 (105)	物語を聞く、読む。 クリスマスカードを書く。 日付 What's the date today? ---It's April (the) fourth. CAN Can you swim fast? ---Yes, I can. / No, I can't. 一般動詞(2) When does he practice kendo? ---On Saturday afternoon. 一般動詞(2) What does she like? ---She likes cooking. 時刻・曜日を知る What time is it? / What day is it today? 一般動詞(1) How many CDs do you have? ---I have twenty CDs. 一般動詞(1) Do you like cats? ---Yes, I do. / No, I don't. 複数形 疑問詞 What / Who / Where / What's this (that)? ---It's a kite. be動詞 I'm (You're / He's) Tanaka Ken. I'm from Tokyo.		JAZZ Chants  DVD、絵本  コンピューター 他。
ファーストステージ	4年 (70)	不定詞 Do you like to play baseball? / What do you want to be? 過去形(2) I found my wallet. Where was it? ---It was under the desk. 過去形(2) What happened? ---He broke the window. 過去形(2) I had a cold. ---Did you go to see a doctor? 過去形(2) The magic show was great. / Where were you at 2:00? 比較 My dog is older than your dog. 学年 What grade are you in? ---I'm in the fourth grade. 記念日 When is your birthday? ---It's May (the) first. 職業・年齢 My father is a teacher. He is forty (yaers old).		Let's Chant Let's Sing 1,2,3,4  JAZZ Chants
	3年 (70)	選択 Which color do you want? 未来形 Where are you going? ---To the zoo. 頻度 She usually rides her bike to school. スケジュール When do you play soccer? What do you do on Monday? 場所を尋ねる Where is the library? ---It's next to the museum. 1日の生活 I get up at sic thirty every day. 一般動詞(2) What does she like? ---She likes spaghetti.		絵本  DVD、ビデオ  コンピューター
	2年 (70)	～しなさい。 / ～しよう。 Listen carefully. / Let's sing. いくつ～がありますか。 How many chairs are there in the room? 何しているの? What are you doing? ～ができますか。 Can you ski? ---Yes, I can. / No, I can't. 私の本はどこ? Where is my book? この本は誰のもの? Whose book is this? ---It's Lisa's book. どんな授業が好き? What class do you like? ---I like English. ～してはだめよ。 Don't run. これは何? あれは何? What's this? What's that? Phonics (年間を通して学習)		フォニックス教材   必要に応じて 他の教材も使用
	1年 (68)	好きなもの What do you like? ---Soccer. I like soccer very much. 今日は何曜日? What day is it today? ---Saturday. 今何時? What time is it now? ---Nine twenty. 何歳ですか? How old are you? ---I'm six years old. きょうの天気はどう? How's the weather today? ---Sunny and hot. 誰ですか? Who's she? ---She's my sister, Kate. これは何色? What color is this? ---Green. これは(あれは)～です。 This is (That's) my bike. 数字 (1 - 100 年間を通して学習) Phonics (年間を通して学習)		
英検合格目標 5級 4年～5年 4級 5年～6年 3級 6年～8年 準2級 7年～9年		(行事)	放課後、コンピューターを使用して自主学習(アロックワーク) 英検の指導を定期的に行う。(全体・個人指導) 校内英語暗唱大会(7年～9年 全員予選出場 6年 インターミッションで英語を披露) British Hills 英語研修(6年) オーストラリア修学旅行(9年)	

(教科目標) 図工・美術に関する基礎知識と基本技術を身につけ、自分の表現を確立するとともに知恵を活かす力を養う

学年		育てたい力	創造	技術・知識	鑑賞	自己表現力
Third Stage 9年生 8年生	創造的思考	自己を表現する力とそれを他者の中で活かすことのできる力 多様な表現を理解する力、心 自由な発想、ひらめきをまとめ上げる力	通年で卒業制作	専門性のある表現を目指す 絵画デザインコース 造形工芸コース	卒業制作展 英智祭	自己表現確立期
			通年でテーマ制作		英智祭	
Second Stage 7年生 6年生 5年生	感受性 集中的思考 獨創性・再構成力	最後までやり通す力 自ら楽しみを見つける力と仲間と共に活動する力	木材を使って 勾玉作り ワイヤーアート 平面構成	[知識] 平面と立体の表し方の違い	英智祭 東洋美術 西洋美術	基礎基本応用期
			卒業制作 絵手紙 焼き物を造ろう(2) おもちゃ工房 はんこアート	[技法] 篆刻 ひもづくり [素材] 石材 印刀	英智祭	
			ミラーボックス 木粘土でレリーフ作り かるた作り 焼き物を造ろう(1) コリントゲーム 平面構成	[道具] コンパス [知識] 色彩 [素材] 土粘土	英智祭 琉球芸術 日本芸術	
First Stage 4年生 3年生 2年生 1年生	感受性 拡散的思考 柔軟性・流暢性 直感的思考	継続的に経験、体験しようとする力 基本操作、動作が正しくできる力 楽しむ力、感動する力	針金から生まれる形 ケーキ作り メタルレリーフ 木版画 ジュラシックパーク 自転車デッサン	[道具] のこぎり キリ ペンチ 彫刻刀 ドライバー 電動系のこぎり [素材] 針金 アルミ	英智祭	基礎基本充実期
			くぎ・くぎ・くぎをうちつけ 鬼ってどんな顔? スタンドアート ステンシル版画 トンボのいる風景 うちわ作り 自転車デッサン	[道具] トンカチ 30cm定規 [技法] 染色 デッサン法 孔版画 [素材] スタンドカラー [知識] スタンドグラス	英智祭	
			はっけんモナリザ ぼくのわたしのともだち 紙はんが ふたのある小物入れ カラフルこっちゃん 色ともようの形遊び うつしてみよう	[道具] 版画用具 カッター [技法] 紙版画	英智祭	
			おしゃれなぼうし しぜんをさわってたしかめて ふわふわキュ つなげてみよ～ん クラフトフラワー どろんこわーい ねんどの花 しんぶんをつかって	[道具] はさみ 水のり 大和糊 クレヨン 色鉛筆 油性ペン 水彩絵の具 木工用ボンド ホッチキス セロテープ [素材] 紙粘土 画用紙 色紙 ボール紙 木の葉 ビーズ つや出しニス [知識] 三原色	英智祭 单元ごとの鑑賞会	
学年		育てたい力	創造	技術・知識	鑑賞	自己表現力

(教科目標) 音楽に関する基礎知識と基本技術を身につけ、自己表現力を高めるとともに他者理解、協調性を養う

学年		育てたい力		表現・鑑賞	楽 器	楽 理
Third Stage	9年生	創造的思考	自己を表現する力とそれを他者の中で活かすことのできる力 多様な表現を理解する力、心 自由な発想、ひらめきをまとめ上げる力	ハレルヤ合唱 4部合唱 創作(3部形式)	ギター	↑
	8年生			ハレルヤ合唱 舞台芸術(歌劇・バレエ) 部分4部合唱 創作(3部形式)		
Second Stage	7年生	集中的思考	最後までやり通す力 知識、技能を活かし、新たに創造、表現する力	ハレルヤ合唱 リコーダーアンサンブル 弦楽アンサンブル オーケストラの響き 創作(1~2部形式)	キーボード	和声・コード
	6年生			リコーダーアンサンブル 世界の音楽 豊かな表現 部分3部合唱 日本歌曲	アルトリコーダー ヴァイオリン・チェロ	形式・構成
	5年生			部分3部合唱 リコーダーアンサンブル 弦楽アンサンブル オーケストラの響き 日本の音楽 合唱の魅力	ソプラノリコーダー ヴァイオリン・チェロ 篠笛	フレーズ 反復記号
First Stage	4年生	拡散的思考	自ら楽しみを見つけて力と仲間と共に活動する力 継続的に経験、体験しようとする力	お話と音楽 サウンドオブミュージック ふしのまとまり 音の重なり	ソプラノリコーダー ヴァイオリン・チェロ	速度記号 強弱記号 連符
	3年生			2部合唱に挑戦 みんなのアンサンブル 動物の謝肉祭	ヴァイオリン 鍵盤ハーモニカ	スラー・スタッカート 3・4・5度(音程)
	2年生	直感的思考	楽しむ力、感動する力	耳をすませて 季節を歌う お祭り気分 自然の音のイメージ わくわくりズム	豊年太鼓 和太鼓 鍵盤ハーモニカ	和音 ト音譜表・ヘ音譜表 付点音符
	1年生			どんなようすかな おもちゃのシンフォニー けしきを歌う みんななかよし あつまれおんがくなかま	和太鼓 鍵盤ハーモニカ	4部・2分・8分音符 黒鍵を使って リズム遊び
学年		育てたい力		表現・鑑賞	楽 器	楽 理

聖歌は学年を問わず時期によって共通のものを行う

(教科目標) 基礎・基本を身につけ、生涯にわたって文字を生かすことができる力を育てる

学年	育てたい力	表現			鑑賞	
		漢字	仮名	漢字・仮名		
Third Stage 9年生 8年生	創造的思考力・表現力 創造的思考	自己を表現する力とそれを他者の中で活かすことのできる力 多様な表現を理解する力、心 新たに創造、表現する力 知識、技能を活かし、	楷書の学習 楷書の古典による表現 行書の学習 行書の筆脈の連続性・虚画 行書の古典による表現	仮名の学習 平安期の仮名との比較	漢字と仮名の調和 歌・詩・俳句・短歌を書く	楷書の表現 行書の表現 日本の美 調和
			漢字の歴史 落款印づくり 楷書の古典学習 行書の学習 行書の運筆法・筆脈 行書の古典学習	行書に調和する仮名	漢字と仮名の調和 行書と仮名の調和 書式について	書体の変遷 篆書の表現 筆の動きの変化 仮名の表現 書の美しさについて
Second Stage 7年生	感受性・独創性・再構成力 集中的思考	最後までやり通す力 基礎基本を身につける力	書の基本 楷書の用筆法・運筆法 字形について 行書の特徴 行書の用筆法・筆脈	仮名の成立 楷書に調和する仮名	漢字と仮名の調和 楷書と仮名の調和	筆の動き 字形の取り方 楷書と行書の比較 漢字と仮名の比較

聖ウルスラ学院英智小・中学校 【社会】 カリキュラム概要

T 9 (中3)			1. 現代社会と生活 (中学社会科『公民』の教科書を使用) (高校『政治経済』の教科書を副教材として使用) 2. 人間の尊重と日本国憲法 ・個人と社会 ・人権と日本国憲法(人権の歴史、日本国憲法の基本原則、日本の平和主義、基本的人権と個人の尊重) ・人権と共生社会(自由権、社会権、新しい人権) 3. 民主政治と社会 ・現代の民主政治(選挙のしくみと課題、政治参加と世論、政党と政治) ・国の政治のしくみ ・地方政治と自治 4. わたしたちの暮らしと経済 ・市場経済と金融 ・国民生活と福祉 5. 地球社会とわたしたち ・国際問題と地球市民 ・国際社会と世界平和 高校『現代社会』の教科書を副教材として使用) ・人権と日本国憲法 ・民主政治と社会 ・暮らしと経済 ・国際社会
T 8 (中2)	2. 地域区分とその特色 ・世界地誌 ・日本と世界のつながり	4. 近代日本の歩みと国際社会 (日本の開国、明治維新、日清・日露戦争と近代産業) 5. 二度の世界大戦アジア・日本 (第一次世界大戦、世界恐慌と日本の中国侵略、第二次世界大戦とアジア) 6. 現代の日本と世界 (日本の民主化と国際社会への参加、国際社会と日本) 7. 前近代史(四代河文明、ヨーロッパの古代、ヨーロッパの中世、イスラム史、中国史) 8. 近代史(市民革命、産業革命)	
S 7 (中1)	1. 区分とその特色 ・世界の姿をとらえる ・日本の姿をとらえる ・身近な地域をしらべる ・日本地誌	1. 古代国家と東アジア(中学校社会科『歴史』の教科書使用) (人類登場から文明の発生へ、東アジアの中のヤマト王権、天皇・貴族が中心となった政治と文化) 2. 武家政治と東アジア (武士の世のはじまり、戦国時代、いまにつながる生活・文化) 3. 武家政治の発展と世界の動き (信長・秀吉の政治、江戸幕府の政治体制、三大改革、せまりくる外国、新しい学問と庶民の文化)	
S 6	1. 世界平和と地理 ・情報が結ぶ世界 ・世界の人々と自然がともに生きる地球	1. 世界平和と地球の歴史 ・軍隊をもたない国 ・環境教育	2. 世界の中の日本 ・日本と深いかわりを持つ国々 ・日本と世界の平和 1. 私たちの生活と政治 ・地方自治 ・国政 ・日本国憲法
S 5	1. 私たちの生活と産業(小学校5年社会科の教科書を使用) 私たちの生活と工業生産 ・工業地域 ・交通、流通、貿易	2. 日本の歴史(先人の働きを通して、日本がどのように発展してきたか) (小学校6年社会科の教科書を使用) ・通史で学び、おおきな歴史の流れをつかむ	
S 4	2. 私たちの生活と産業(小学校5年社会科の教科書を使用) 私たちの生活と工業生産 ・機械工業 ・工場生産 ・企業の多国籍化 さまざまな食料生産(酪農)(畑作農業) ・酪農 ・畑作 ・果樹栽培 ・日本の食糧生産の課題 私たちの生活と食料生産(水産業) ・さまざまな漁法 ・養殖漁業、栽培漁業 私たちの生活と食料生産(農業) ・米作りに適した土地 ・農家の一年 ・新しい米作り 1. 宮城県を調べてみよう(小学校4年社会科の教科書を使用) ・宮城の特色ある産業 ・地域の中心都市『仙台』		
F 3	3. 宮城県を調べてみよう(小学校4年社会科の教科書を使用) ・宮城の地形 ・宮城の交通 ・宮城の産業と土地利用  1. 私たちの生活をささえる(小学校4年社会科の教科書を使用) 暮らしをささえる水 ・水の使用量 ・水道事業のしくみ ・生活用水の水源 ・使われた水のゆくえ ごみの処理と利用 ・ごみのゆくえ ・再利用されるごみ ・ごみ処理場見学 事件や事故から暮らしを守る(小学校3年社会科の教科書を使用) ・交通事故からまもる ・防犯への取り組み ・危険地図づくり	2. 私たちの郷土の歴史(小学校4年社会科の教科書を使用) 仙台歴史マップ作り(小学校5年社会科の教科書を使用) ・城下町を築いた伊達政宗 ・鉄道の開通で発展した仙台郷土をひらいた人 古い道具と昔の暮らし ・道具を通して考える昔の暮らし ・道具の遣り変り	
F 2	3. 私たちの生活をささえる(小学校3年社会科の教科書を使用) 火から暮らしを守る ・消防署 ・火災への備え ・消防署見学 2. 私たちの暮らしと産業 私たちの暮らしと工場の仕事 ・工場での製造工程 ・工場での工夫 ・さまざまな工場 私たちの暮らしと農家の仕事 ・農家の仕事 ・作物栽培の工夫 ・農産物の流通 私たちの暮らしと商店 ・商業 ・商品の流通 ・商圈 ・さまざまな店舗の形態 1. 私たちの学ぶ地域(小学校3年社会科の教科書を使用) 仙台市のようす ・仙台市の地形 ・仙台市の土地利用 ・仙台市の市街地 ・仙台市の交通 ・仙台市の公共施設 私たちの身近な地域の特色 ・学校のまわり 地域の地図にまとめる		
F 1			
	地理的分野	歴史的分野	公民的分野

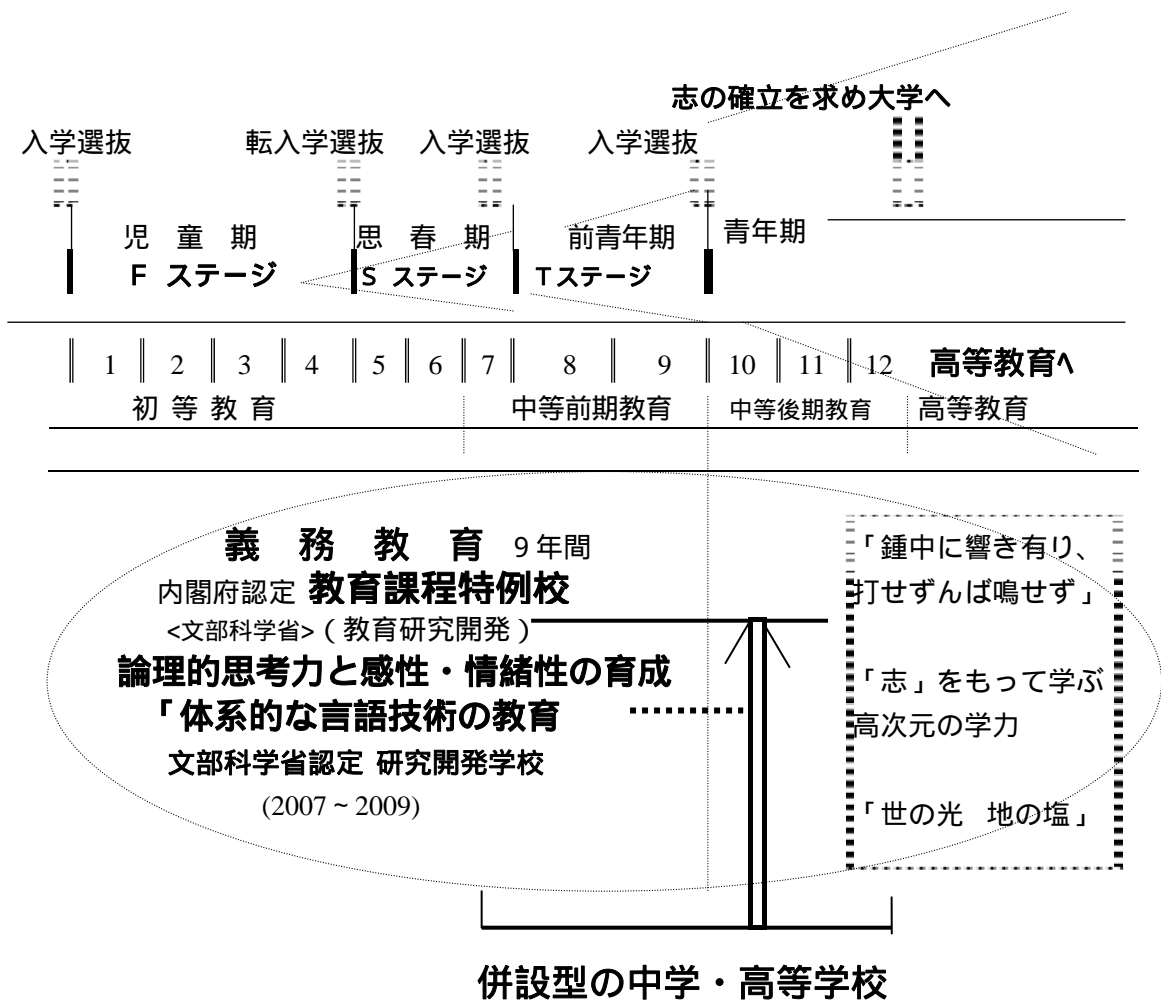
<b>T9</b> (中3) (175時間)	7. 自然と人間 (2分野下) ・自然の中の生物 ・自然と環境保全 ・自然と人間生活	物質の構成と変化 (理科総合A) ・物質の構成 (原子構造, 電子配置, イオン, 周期表) ・物質の変化 ・中和 物質の構成粒子 (化学) ・原子・分子・イオン ・物質と化学反応式	6. 科学技術と人間 (1分野下) ・エネルギー資源の利用 ・科学技術の進歩と人間生活 資源の開発と利用 (理科総合A) ・エネルギー資源の利用と問題 (原子力エネルギー) 5. エネルギー (1分野下) ・いろいろなエネルギー ・化学変化とエネルギー エネルギーの変換と保存 (理科総合A) ・仕事とエネルギー 3. 運動と力 (1分野下) ・落下運動 ・作用・反作用の法則	4. 地球と宇宙 (2分野下) ・地球の運動と天体の動き ・惑星と恒星 ・宇宙のひろがり 地球という星 (理科総合B) ・太陽系の構造 (天文単位) ・惑星の分類と特徴 ・惑星の環境 (太陽系, 太陽風) ・原子の地球環境と生命の誕生
	自由研究 (レポート提出, 発表)			
<b>T8</b> (中2) (175時間)	2. 動物の世界 (2分野上) ・動物の行動とからだのしくみ ・動物のからだのはたらき ・動物のなかま	5. 化学変化と原子・分子 (1分野下) ・物質の変化	3. 電流 (1分野上) ・静電気と電流 ・電流のはたらき エネルギーの変換と保存 (理科総合A) ・熱とエネルギー	4. 天気とその変化 (2分野下) ・気象を見る目 ・空気中の水蒸気の変化 大気と水の循環 (理科総合B) ・日本付近の大気の動きと気象の変化 1. 生物の変遷 (理科総合B) ・海で始まった生命の歴史 (含 原始の地球環境) ・海から陸へ ・現存の生物へ (T8総合学習「自己を知る」と連携)
	自由研究 (レポート・模造紙まとめ提出, 発表)			
<b>S7</b> (中1) (140時間)	1. 植物の世界 (2分野上) ・花のつくりとはたらき ・葉のつくりとはたらき ・根と茎のつくりとはたらき ・植物のなかま	3. 身のまわりの物質 (1分野上) ・身のまわりの物質とその性質 ・水溶液の性質 ・物質の姿と状態変化	2. 身のまわりの現象 (1分野上) ・光の世界 ・音の世界 ・いろいろな力の世界	4. 大地の変化 (2分野上) ・火をふく大地 ・ゆれる大地 ・地層から読みとる大地の変化 地球の変動と景観 (理科総合B) ・自然景観の多様性 ・プレートの運動と大地形の形成 ・水的作用による地形の形成
	自由研究 (レポート提出, 発表)			
<b>S6</b> (105時間)	8. 人とかんきょう 4. 生き物のくらしとかんきょう	6. 水よう液の性質とはたらき	7. 電流のはたらき	5. 大地のつくりと変化 (地震と火山の両方)
	わたしの研究 (レポート提出, 発表)			
<b>S5</b> (105時間)	3. 植物のからだのはたらき 2. 動物のからだのはたらき 1. 地球と生き物のくらし	8. ものの燃え方と空気 (6年) 6. もののとけかた	7. おもりのはたらき (ふりこ・あてられたもの両方) 5. てこのはたらき	
	わたしの研究 (レポート提出, 発表)			
<b>F4</b> (105時間)	2. 花から実へ	4. 水のすがたとゆくえ 3. もののかさと温度	5. もののあたたまりかた	4. 流れる水のはたらき 3. 台風と天気の変化 1. 天気と気温の変化
	わたしの研究			
<b>F3</b> (70時間)	2. 魚や人のたんじょう (魚・人の両方) (5年) 1. 植物の発芽と成長 (5年)		9. もののかさと力 (4年) 7. 電気のはたらき (4年)	11. 冬の星 (4年)
	わたしの研究			
<b>F2</b> (53時間)	5. 暑くなると (4年) 1. あたたかくなると (4年)	4. つくってあそぼう 3. じしゃくにつけよう 2. 光を当てよう	6. 月と星 (4年)	
	わたしの研究			
<b>F1</b> (53時間)	4. 花と実をしらべよう (3年) 3. こん虫をしらべよう (3年) 2. チョウをそだてよう (3年) 1. 植物をそだてよう (3年)	6. 明かりをつけよう (3年)	5. 日なたと日かげをくらべよう (3年)	
	わたしの研究			
	<b>領域1 生命</b>	<b>領域2 物質</b>	<b>領域3 エネルギー</b>	<b>領域4 地球</b>

聖ウルスラ学院英智小・中学校【価値と規範】 宗教科 9年間のカリキュラム

サイドステージ	9年	実践力	<ul style="list-style-type: none"> <li>聖書を生きて</li> <li>キリスト教の価値観</li> <li>キリスト教の教えに基づく愛と平和の生き方</li> <li>平和を求める祈り</li> <li>聖フランシスコの精神と現代</li> <li>キリスト教の愛</li> </ul>	現代社会を知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代社会の問題を考える</li> <li>人間の尊厳性</li> <li>人権・差別問題</li> <li>環境問題を考える</li> <li>人間と宗教</li> <li>平和を求める生き方</li> <li>愛と奉仕の実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>創立者の精神を学び、自分の生きる使命を自覚する</li> <li>宗教行事への理解</li> <li>真の自由と平和を求めて生きる</li> </ul>	マリア祭 静修会 創立記念ミサ 学年ミサ 奉仕の日 献金活動 卒業式 祈り 今月の聖句
	8年	理解力	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分への理解を深め、他者との関わりをみことばの光のもとに学ぶ</li> <li>イエス・キリストの愛に触れ、自分の生き方の指針とする</li> </ul>	自分を知る 他者を知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>私から見た自分</li> <li>他者から見た自分</li> <li>神から見た自分</li> <li>生命の尊さ</li> <li>愛すること・平和を生きる</li> <li>家族友人との関わり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>創立者の生き方</li> <li>宗教行事の意義</li> <li>奉仕活動の理解と実践</li> <li>聖人の生き方を知る</li> </ul>	
セカンドステージ	7年	実践力	<ul style="list-style-type: none"> <li>聖書を開く</li> <li>イエス・キリストとの出会い</li> <li>イエスの教え</li> <li>主の祈り聖母マリアへの祈り</li> <li>宗教音楽に親しむ(パイプオルガンを使って)</li> </ul>	切な目に見えない大切なものを知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>神を敬う心</li> <li>祈る心</li> <li>宗教を学ぶ心</li> <li>目に見えない大切なものに気づく心</li> <li>思いやりの心</li> <li>感謝の心</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宗教行事への参加</li> <li>創立者の生涯</li> <li>奉仕活動への参加</li> </ul>	入学式 聖母月 マリア祭 クリスマス 創立記念ミサ 待降節 聖アンジェラの日 献金活動 今日 の聖書のことば 七五三 教会訪問 黙想会
	6年	判断力	<ul style="list-style-type: none"> <li>聖母マリアに倣う</li> <li>神の協力者として働いた人々</li> <li>イエス様の友人たち</li> <li>救い主の降誕</li> <li>イエス様に近づくために</li> </ul>	「私は神様の宝物」	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分を発見しよう</li> <li>神の賜物と応答</li> <li>良心とよい行い</li> <li>友情について</li> <li>自分の宝、友だちの宝</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6年生としての心構え</li> <li>聖アンジェラの生き方</li> <li>聖アンジェラの心</li> <li>卒業黙想会の準備</li> <li>卒業黙想会</li> </ul>	
ファーストステージ	5年	実践力	<ul style="list-style-type: none"> <li>聖書を開いて</li> <li>掟を完成するために来たイエス様</li> <li>聖書の中の愛の実践</li> <li>イエスは私達を一つにする</li> <li>世界の兄弟とのかかわり</li> <li>使徒たちの召命</li> <li>パウロの信仰と回心</li> <li>イエスキリストの死と復活</li> </ul>	「共にいてくださるイエス様」	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会の秩序と神の国への道</li> <li>私達はみな神の子</li> <li>旧約時代の人々</li> <li>預言者と救い主を待ち望む人々</li> <li>神の掟、モーセの十戒</li> <li>イエスキリストの新しい掟</li> <li>教会 2000年の歴史</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>聖アンジェラ=メリチとその時代</li> <li>マザーテレサ</li> <li>ウルスラ学院創立当時の様子</li> </ul>	
	4年	実践力	<ul style="list-style-type: none"> <li>救い主イエス・キリスト</li> <li>イエス様に会った人々</li> <li>イエス様は今もいつも私達と共にいてくださる</li> <li>聖書は大切な本</li> <li>イエス様のメッセージ</li> <li>神様が御子をこの世に送られた意味</li> </ul>	「かけがえない私・自尊感情を養う」	<ul style="list-style-type: none"> <li>旧約聖書の背景・創造の御技</li> <li>神はすべてをよいものとして創られた</li> <li>神の似姿としての人間</li> <li>世界の創造と科学</li> <li>自己の成長・身体、知性、心</li> <li>祈りは神様との対話</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>聖アンジェラとウルスラ学院</li> <li>たとえ話を現代の出来事にあてはめて「よきサマリア人」</li> <li>熱心に祈り、神にこたえた聖人</li> </ul>	
ステージ	3年	実践力	<ul style="list-style-type: none"> <li>イエス様の言葉となさること</li> <li>私たちのために祈ってくださるマリア様</li> <li>イエス様は私たちの友</li> <li>たとえ話で教えてください</li> <li>イエス様</li> <li>道真理命であるイエス様</li> </ul>	かみさまのこども	<ul style="list-style-type: none"> <li>生きるということ</li> <li>わたしの生命、みんなの生命</li> <li>協力して生きる</li> <li>自分と人を大切に</li> <li>家族の喜び、聖家族の喜び、神の国の家族の喜び</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イエス様を愛した聖アンジェラ</li> <li>聖アンジェラとウルスラ学院</li> <li>世界のウルスラ学院の子供</li> </ul>	
	2年	宗教的感性	<ul style="list-style-type: none"> <li>イエスさまのお母さま</li> <li>イエスさまってどんなかた?</li> <li>すくい主を待つ心</li> <li>イエスさまが教えてください</li> <li>イエスさまによられた人々</li> <li>イエスさまをしんじた人々</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>神さまは私を知り、なまえてよぶ</li> <li>私たちはみんな神さまのこども</li> <li>神さまののぞみがわかる人</li> <li>きゅうやく時代の人々</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イエスさまを愛した聖アンジェラ</li> <li>聖アンジェラとウルスラがくいん</li> <li>世界のウルスラのこども</li> </ul>	
ステージ	1年		<ul style="list-style-type: none"> <li>せいぼマリアさま</li> <li>イエスさまのごたんじょうとクリスマス</li> <li>せいかぞく</li> <li>イエスさまののぞみ</li> <li>じゅうじかのイエスさま</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>おいのりとは</li> <li>かみさまのつくられたものでいちばんすばらしいもの、にんげん</li> <li>わたしはたいせつなにんげん</li> <li>みんなのなかのじぶん</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>がくいんのおかあさま聖アンジェラ</li> </ul>	
	学年	身につけたい力	<領域> 主としてイエス自身とイエスの教え(生き方)に関すること	<領域> 主としてキリスト教的人間観・生命観に関すること	<領域> 主としてカトリック学校として、本校の建学の精神と社会における役割(使命)に関すること	学校行事 宗教行事 今月のみことば	

(資料3)

聖ウルスラ学院英智 **スパイラル方式の教育**  
成長段階を踏まえたスパイラル方式による連続・深化の教育  
生きる力(確かな高次元の学力)を育む  
われの世界とわれわれの世界に生きる力  
**確かな学力の向上と人間的な成長を実現する教育**



聖ウルスラ学院英智の教育  
スクールブランドコンセプト  
力の付く元気な学校



(資料3)

発達段階による4・3・2制 (裏付けその1)

添付資料

課程	学年	成長段階 (ステージ名) 教育課程上の纏まり	読書興味に 観られる 精神機能	思考に観られる精神機能	母語形成期
小学校課程	1	児童期 (ファーストステージ)	寓話期	<b>直観的思考</b> 直観的思考と受動的な行動形態の新入学児童 論理的・客観的・実証的な思考と協調的な行動形態へ	0才～5才 話し言葉の形成期 2才～7才 読み書きの形成期 4才から一生涯伸び続ける
	2				
	3				
	4				
	5	思春期 (セカンドステージ)	物語期	<b>具体的操作期</b> 論理的で概念的な思考と能動的な行動形態が顕れる時期	<b>抽象語彙・概念の発達</b> 抽象的な思考が出来るようになり、抽象語彙力が増えるのは10才以降から。
	6				
中学校課程	7	前青年期 (サードステージ)	文学期	<b>形式操作期</b> 論理的科学的な認知能力・柔軟な思考能力と、責任感ある能動的行動が可能となる時期	一生伸びる
	8				
	9				
高校課程	2	青年期	思想期		
	3				

高野清純・林邦雄編著 「図説児童心理学事典」学苑社 1975年より

坂本一郎による Piaget . J . による

母語形成期

母文化形成期 0才～5才 話し言葉の形成期 2才～7才

読み書きの形成期 4才から一生涯伸び続ける

# 教育改革の経緯

年度	高等学校	中学校	小学校
1 4	<p>学校法人聖ウルスラ学院 理事長 梶田 勲一氏 就任</p> <p>一本杉キャンパス新校舎建築着工</p> <p>学校設定科目仙台湾作法 導入準備 学則定員変更準備</p>		
1 5	<p>高等学校課程の改革 スタート</p> <p>特別志学コース 尚志コースの 二コース制度開始 仙台湾作法科目 学校設定科目設定</p> <p>新制服作成検討委員会設立SPTコング</p>	<p>十二年間一貫教育の小中学校の改革着手</p> <p>構造改革特別区域法による教育改革検討開始</p>	
1 6	<p>二コースの教育実績が顕 著</p> <p>一本杉キャンパス新校舎竣工式</p>	<p>みやぎ私学教育特区研究開発学校として内閣府認定</p>	
1 7	<p>校名・校歌の変更「聖ウルスラ学院英智」となる</p> <p>特別志学コースに 男子導入で共学 尚志コースは女子教育</p> <p>新制服着用開始</p>	<p>教育特区9年間一貫の小・中学校として開式 共学校となる</p> <p>特別志学コース 小中学校6日制教育開始</p> <p>衆議員にて高見陳述</p> <p>第一回 英智 公開研究会開催</p>	
<p>授 業 研 修</p>			
<p>形 成 的 評 価 授 業 構 造 研 究</p>			

18	特別志学コース生の の全国模擬試験業績 顕著	文部科学省に「言語技術教育」研究開発申請 第二回 英智 公開研究会 開催
19	部活動もできる特別 志学コースを新設 * 特別志学TYPE1 * 特別志学TYPE2 * 尚志コース 三コース完成 共学特別志学TYPE1 一期生 驚異の進学実績 尚志コース生驚異の進路	文部科学省認定研究開発学校「言語技術教育」 として取り組み開始初年度 全国学力・学習状況調査の実施 第三回 英智 公開研究会 開催 第一回 小・中学校卒業式挙行
20	サイドステージと特別志学コー スの五年間の学力を高める教育 開発プロジェクト委員会実践成 果を求めて作動始める。	小・中学校の教員授業研究会の充実 9年生のコースクラス 開設（21年度は、8 /9年生のコースクラ ス開設） 第四回 英智公開研究会 開催 十二月十五日
21	コース・クラス開始 サイドステ+高校3年間 中高併設学校とし認可	第五回 英智公開 研究会 十二月五日 聖ウルスラ学院英智小・中校、聖ウルスラ学院英智高等学校 の十二年間の一貫教育のハード面の完成期であり、かつソフト面 の充実を更に求めて、新学習指導要領の研究実践を進め充実させ る課題を持つ教育課程特例校研究開発（高校特区申請プロジェクト）
22	コネスコスクールとして申請中	第六回 英智公開研究会 開催十二月四日（土） 小・中学校研究開発校新校舎建築起工式 十一月三日
23	学校法人設立六十周年 新学習指導要領実施年 尚志コースの部活動全国レベル改変（男子導入人試告知）	第七回英智公開研究会開催十二月三日（土）

合同小・中学校、高教職員研修